

導入事例

学習教材



株式会社 公文教育研究会 様
[E-Pencil]



株式会社
ベネッセ ビースタジオ 様
[M∞Speaker!]



株式会社 理究 様
理英会・どんちゃか幼児教室
「おはなしせんせい」

オトデルシリーズ(弊社オリジナル教材)



株式会社
旺文社 様



株式会社
Jリサーチ出版 様



株式会社
東京インターナショナル
スクールグループ 様



一般財団法人
三和徳育会 様

特別支援学習



筑波大学附属
大塚特別支援学校 様
[G-Speak]



認定特定非営利活動法人
エッジ 様
[G-Speak]

知育・脳トレ



株式会社
デアゴスティーニ・ジャパン 様
「おしゃべりガイコツ」



株式会社
デアゴスティーニ・ジャパン 様
[Q-bo]



株式会社驛人社 様
「アタマげんき
トレーニング編・チェック編」

インバウンド・その他



地方独立行政法人
京都市産業技術研究所(二条城) 様
[G-Speak]



大塚国際美術館 様
[G-Speak]



株式会社タニタ 様
手動身長計、手動身長計付き体重計
[BH-100] [BH-200A]



株式会社
インターネットメディア研究所 様
[Gridwork]

製品ラインナップ

製品	G-Speak	G-Talk	オトデルペン	G-Pen Blue
	乾電池式タイプの音声ペン	充電式タイプの音声ペン	オトデルシリーズ対応 充電式タイプの音声ペン	Bluetooth搭載 ペン型ドットコードリーダー
外寸	幅25×長さ156×高さ23.5(mm)	幅25×長さ145×高さ21(mm)	幅22×長さ142×高さ18.5(mm)	幅22×長さ130×高さ16(mm)
重量	約65g (単4電池2本を含む)	約40g	約26g	約36g
連続動作時間	約8時間 *1	約2時間 *2	約3時間*2	約5時間*2
バッテリー	単4乾電池2本	リチウムイオン充電電池	リチウムイオン充電電池	リチウムイオン充電電池
充電時間	-	約5時間	約3時間	約3時間
音声出力	モノラル 100mW/8Ω	モノラル 100mW/8Ω	モノラル 100mW/8Ω	-
再生形式	WMA, MP3	WMA, MP3	WMA, MP3	-
録音マイク	モノラル	モノラル	モノラル	-
接続インターフェース(有線)	USB2.0	USB2.0	USB2.0	USB2.0
接続インターフェース(無線)	-	-	-	Bluetooth 3.0 Classic / 4.0 BLE
入出力端子	ヘッドフォン端子(ステレオミニジャック)、 インピーダンス32Ω, USB microBコネクタ	ヘッドフォン端子(ステレオミニジャック)、 インピーダンス32Ω, USBmini-Bコネクタ	ヘッドフォン端子(ステレオミニジャック)、 インピーダンス32Ω, USB microBコネクタ	USB microBコネクタ
記録媒体	microSD	microSD	microSD(内蔵)	-
動作/充電温度	5～35℃	0～40℃	0～40℃	0～40℃
付属品	G-Speak本体、単4アルカリ乾電池2本	G-Talk本体、USBアダプター USBケーブル	オトデルペン本体、USBケーブル	G-Pen Blue本体、USBケーブル

*1:常温(25℃)かつ当社測定条件下、アルカリ乾電池を使用した場合 *2:常温(25℃)かつ当社測定条件下

※ 本製品の利用には、本商品のGridOnput®対応冊子、スティッカー及びソフトウェアが必要です。

※ 本製品の仕様・デザインは性能改善等のため予告無く変更する場合があります。

※ 本製品ご購入に関しては、各取扱店、弊社代理店、弊社営業部までお問い合わせください。

dot stickerシリーズ

ドットコードを組み込んだ印刷物を制作することなく、お手持ちのテキストやカタログ、製品などに直接貼り付けてすぐに使用することができるスティッカータイプのドットコードです。

スティッカータイプのドットコード(1,000コード)の他に、音声ペン(G-Speak)が付いた音声ペンセット、ドットコードリーダー(G-Pen Blue)が付いたドットコードリーダーセット、またそれぞれのセットでご利用いただけるアプリケーション(Sound Linker, BlueLinker)があります。

dot sticker+ 音声ペンセット



dot stickerと音声ペンがセットになったパッケージ商品です。dot stickerに音声データをリンク設定することでオリジナルの音声教材が作れます。

dot sticker+ドットコードリーダーセット



dot stickerにドットコードリーダーがセットになったパッケージ商品です。dot stickerに画像や動画などをリンク設定することでオリジナルのデジタル教材が作れます。

Gridmark

グリッドマーク株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-44-2

TEL 03-5843-9311 FAX 03-5843-9312

HP <https://www.gridmark.co.jp/>

STORE <https://gridmark.stores.jp/>

代表取締役

資本金

設立

事業概要

吉田 健治

65,000千円 (2022年6月現在)

2004年 4月12日

GridOnput®技術を用いた各種製品の開発・製造・販売

GridOnput®技術を用いた各種ソリューションの提供

GridOnput®技術に関するライセンスの管理・提供

Gridmark



GridOutput®とは

GridOutput®は極小の点(ドット)から構成される新しい二次元コード技術です。印刷されたドットコードを専用スキャナーで読み取ると、デジタルコンテンツへ直接アクセスすることができます。左図は印刷したドットコードをスキャナーでタッチした際の画像です。GridOutput®のドットコードは48bit分の情報量を持ちます。カーボンインクで印刷された黒い点だけをドットコードとして読み取り、IDを判別します。約2mm角の範囲を1つのドットコードとして識別。IDだけではなく角度まで読み取ることができます。

GridOutput®の構造図

キードット 1つのドットパターンの範囲・角度を測定するためのドット。
格子ドット 情報ドットの位置を測定するため、情報ドットの四方に等間隔で配置される基準ドット。
情報ドット IDの値として扱われるドット。

G-Speak

録音もできる乾電池式音声ペン



ドットコードが印刷された教材やシールなどをタッチすると、対応する音声データを再生します。また1つのドットコードで複数のモードが選択できます。G-Speak本体での録音も可能。乾電池駆動(単4電池2本)なので、様々な場所で電源を気にせずご利用いただけます。

G-Talk

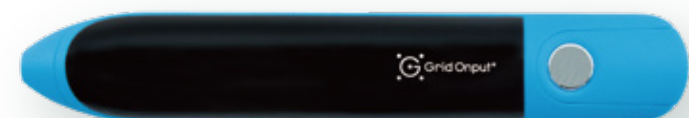
録音もできる充電電池式多機能音声ペン



ドットコードが印刷された教材やシールなどをタッチすると、対応する音声データを再生します。また1つのドットコードで複数のモードが選択できます。G-Talkはリチウムイオン充電電池駆動。充電式なので電池を交換することなく繰り返し利用することができます。

G-Pen Blue

Bluetooth搭載のペン型ドットコードリーダー



G-Pen Blueでドットコードをタッチすると、写真や動画、WEBサイトなどをPCやタブレット端末に表示させることができます。

オトデルペン（G-Talk3）

オトデルシリーズの教材が使える充電電池式多機能音声ペン



オトデルシリーズの書籍やステッカーに印刷されたドットコードを、オトデルペンで読み取ることに対応する音声データを再生します。オトデルペンは1本で、同シリーズの教材すべてがご利用いただけます。

SOLUTION

「紙と音」、「紙とデータ」がつながる世界。そんな明日はきっと楽しい。

ドットコード印刷の仕組み

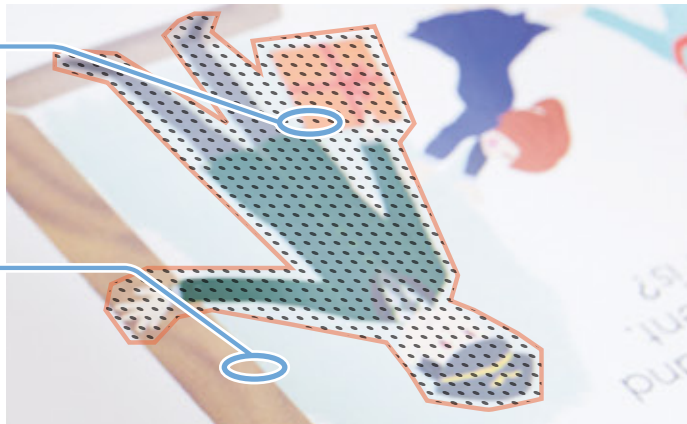
ドットコードの印刷には赤外線を吸収するカーボンインク、またはステルスインクを使用します。下絵部分には赤外線を反射するノンカーボンインクを使うことで、重畳印刷をしてもドットコードだけを読み取ることができます。

ドットコード部分の印刷

ドットコード部分の印刷には、カーボンインク(K)またはステルスインクを使用します。カーボンインク(K)とステルスインクは赤外線を吸収するため、スキャナーで読み取ると黒い点として識別されます。

下絵部分の印刷

写真・イラスト・文字などの下絵部分の印刷には、ノンカーボンインク(CMYK/CMY)を使用します。ノンカーボンインクは赤外線を反射するため、ドットコードと重ねて印刷することができます。



教育支援



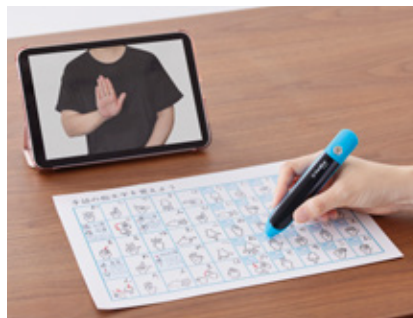
語学学習支援

紙の教材と音声を組み合わせた学習が可能。ヒアリング学習のみならず、録音機能を使った発音チェックも行えます。



特別支援教育

特別な支援が必要な子どもたちの、学習や周囲とのコミュニケーション、自己表現などの支援ツールとしてご利用いただけます。



学習補助・デジタル融合授業

デジタルを活用した学習や授業が可能です。調理実習や体育のお手本動画なども、瞬時に端末に表示することができます。

インバウンド・その他



インバウンド

1つのドットパターンに対して複数のモード選択が可能なため、多言語が必要とされるインバウンドシーンでも活用いただけます。



真贋判定

ドットコードの“複製できない・目には見えづらい”という特性を生かした真贋判定、トレーサビリティ等にも活用できます。



座標値計測

ドットコードのXY座標を読み取ることで、正確な位置が測定できます。PCでの手書き(G-Learning)なども実現可能です。